

一 般 質 問 通 告 書

令和7年恵庭市議会第4回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年11月21日

恵庭市議会議員 生本 富士代

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 1 ~ 1

	一 問 一 答 (有 ・ 無)	質 問 所 要 時 間 (5 0 分)
大 項 目	保健福祉行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
① 高齢者の難聴対策について	社会の高齢化の進行に伴い、難聴の方も年々増加しています。難聴を放置すると、コミュニケーションに支障が出ることで、社会的孤立につながり、認知症発症のリスクが高まる傾向とされています。難聴対策として市役所の窓口に「軟骨伝導イヤホン」の導入を求めるところですが、市のご所見をお伺い致します。	
② 介護支援ボランティアポイント事業について	高齢者がボランティア活動を行い、様々な方と関わり支え合う事を目的として始まったこの事業は来年で10年目となります。健康寿命の延伸等、高齢化社会の変化と共に制度内容の拡充も図られるべきと考えますが、ご所見をお伺い致します。	
③ 地域包括支援センターについて	高齢者の増加に伴い、地域においては対応すべき課題が複雑化・多様化しており、地域包括支援センターに求められる役割は年々増えています。そこで地域包括支援センターの現状と課題について、また地域との連携体制についてお伺い致します。	

※議会申合せ事項第14条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 1 1 月 2 1 日

恵庭市議会議員 小 林 卓 矢

恵庭市議会議長 川 原 光 男 様

ページ 3 ～ 1

	一 問 一 答 (有)・無)	質 問 所 要 時 間 (5 0 分)
大 項 目	災害対策について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
本市の防災に対する取り組みや連携について	大規模な自然災害は、いつどのように発生するかがわからないものであり、本市においても対策を万全にしていける事が重要と考えます。 大規模な災害といっても、地震などはいつ起こるか予想が簡単にできずに、発災直後の迅速な対応が求められることになるかと思ひます。大雨・台風災害は事前に数日かけて気象庁からの報道により事前に備える時間があり、災害の種別に応じた準備では異なる部分もあるかと思ひますが、災害が発生すれば大変なことに変わりなく、市民の暮らしや命にも関わり、本市の経済面にも悪影響を及ぼすことも考えられることから、あらゆる災害に備えた対策を備えておく必要があると考えます。 そこで、本市の防災に対する取り組みや体制づくりなどについて伺ひます。 ① 本市の防災力向上の取り組みの現状と今後の課題について伺ひます。 ② 地域住民や団体などとの連携について伺ひます。	

※議会申合せ事項第 1 4 条 (抜粋)

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏 名 小 林 卓 矢	ページ 3 ～ 2
大 項 目	教育行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
いじめ問題・不登校について	文部科学省の「児童生徒の問題行動、不登校調査」の結果によると、不登校とされた小・中学生は、全国で過去最多の35万3,970人、前年度より7,488人増加し、増加は12年連続。道内でも昨年度より若干減りはしたものの、1万4,047人が不登校となっています。 いじめについては、小・中学校における全国での認知件数が、74万6,477件で前年度より3万4,844件の増。道内では4万7,507件となり、深刻な状況ではないかと考えます。 いじめというのは、加害者側にも被害者側にも、子どもの将来の人格形成に大きく影響を与え、最悪の場合、子ども達の命にも関わります。子どもたちの命や未来を守るため、いじめ問題の未然防止策の充実や、発生した場合の早期発見および解決は欠かせないものであり、対策などについては随時見直していく必要があるものと考えます。 ① 恵庭市内での、令和6年度の小・中学生の不登校およびいじめの件数と推移の状況、支援状況と解消件数について伺います。 ② いじめ防止に向けての学校内外での対策・協力関係の構築について伺います。	

	氏 名 小 林 卓 矢	ページ 3 ～ 3
大 項 目	一般行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
除排雪および冬季間の市民生活の支援について	近年の気候変動は、降雪の時期や量に大きな変化をもたらし、短時間での集中豪雪などのリスクを高めています。一方で、本市でも高齢化が進むことが予想されており、自力で除排雪をすることが困難な市民も増加すると思われます。これに伴い、除雪作業の担い手不足も年々深刻化していくのではないかと考えます。市民の命と暮らしを守るための支援や、将来にわたって持続可能な除雪体制を維持・構築するため、本市の考えと今後の具体的な取り組みについて伺います。 ① 気候変動や高齢化による除雪作業への影響について、現状でどのようなことを課題として認識しているか伺います。 ② 冬季間における高齢者等、市民への暮らしの支援の現状の取り組みや課題について伺います。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 11 月 21 日

恵庭市議会議員 太 田 実 保

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 2 ~ 1

	一 問 一 答 (有)・無)	質 問 所 要 時 間 (5 0 分)
大 項 目	安心安全な子育て環境について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
1. 学童クラブについて	共働き世帯の増加に伴い、学童クラブは子どもたちの安心安全な居場所であり、また、保護者の仕事と子育ての両立を支える上でも、その役割は重要度を増しています。しかし、その運営を巡っては、待機児童の解消や、指導員の確保・育成、多様化するニーズへの対応など、様々な課題が指摘されています。 そこで、以下の点について伺います。 1) 学童クラブの運営の現状と課題について 2) 障がいのある児童の受け入れの現状と課題について 3) 長期休み学童預かり事業について 4) 学童クラブと小学校の連携について	

※議会申合せ事項第 14 条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏 名 太 田 実 保	ページ 2 ～ 2
大 項 目	安心安全な子育て環境について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
2. 交通安全指導について	通学路の安全対策は進められていますが、社会環境の変化に伴い、子どもたちが巻き込まれる交通事故は後を絶ちません。特に近年、自転車を利用する機会が増加しており、学校や家庭だけでなく、地域社会全体で交通安全意識を高めていくことが急務です。 また、児童生徒に対する交通安全指導の効果を高めるためには、学校、家庭、地域、関係機関との連携が重要で、すべての子どもたちが安全に登下校し、健やかに成長できるまちづくりに向けて市の積極的な取り組みが必要であると考えます。 そこで、以下の点について伺います。 1) 児童生徒に対する交通安全指導の現状と課題について 2) 学校や地域との連携について 3) 自転車用ヘルメット購入助成事業の現状と課題について	